

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	電気機器 1	
<b>科目基礎情報</b>					
開設学科	電子・電気科	コース名	電気工事コース	開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	60時限
単位数	4単位			授業形態	講義
教科書/教材	絵とき電気機器（オーム社）、配布プリント				
<b>担当教員情報</b>					
担当教員	岡田豊	実務経験の有無・職種	有・岡田電気安全コンサルタント事務所		
<b>学習目的</b>					
電気機器に関する、電動機や変圧器等を学習することにより、高圧電気技術のより効果的な理解を深める。この電気機器の内容を理解することにより、技術的な高度な理解と関係する国家資格を取得することにより、その総合力を備えたリーダーとしての基盤の基礎固めとする。そして、電気工事業界に貢献できる人材の育成を図ることを目的とする。					
<b>到達目標</b>					
第一種電気工事士資格取得、2級電気工事施工技士の筆記試験合格、及び2級電気工事施工技士の実地試験合格の基礎とする。また第三種電気主任技術者の内容を理解することを目標とする。					
<b>教育方法等</b>					
授業概要	直流機、誘導電動機、同期機、整流器、変圧器、高圧受電設備機器の流れで学びます。各授業ごとに教科書に基づいたサブ資料を配布する。毎回の授業の区切りでショートテストを実施し、各学生の理解を深める。学生が積極的に受講できるアクティブラーニングの手法を工夫して導入し、実践していく。				
注意点	授業中の私語をしている学生には注意をする。遅刻する生徒や欠席の多い生徒には、出席が75%以下の場合は、単位が取れない旨を理解してもらう。一人の学生でも居眠りをしないような必要性和魅力ある授業になるように努める。また、理解が進まない学生には、資料を配布して理解をするように努める。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	中間試験、期末試験の結果を評価する		
	小テスト	10%	各授業ごとにショートテスト実施し、学生の理解度の確認と評価をする		
	レポート	10%	必要がある場合に実施する		
	成果発表表 (口頭・実技)	20%	積極的に発表する学生は、その内容によって評価する		
平常点	10%	欠席せず、遅刻せず、まじめに授業を受講する学生には、評価する			
<b>授業計画（1回～15回）</b>					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	概要説明	電気機器の内容と、必要性を理解する			
2回	直流機発電機 1	直流発電機の概要、種類を理解する			
3回	直流機発電機 2	直流発電機の特長、役割、活用法を理解する			
4回	直流電動機 1	直流発電機の概要、種類を理解する			
5回	直流電動機 2	直流発電機の特長、役割、活用法を理解する			
6回	三相誘導電動機 1	三相誘導電動機の特長、役割を理解する			
7回	三相誘導電動機 2	三相誘導電動機の活用法を理解する			
8回	各種誘導電動機	各種誘導電動機の特長、役割、活用法を理解する			
9回	同期発電機	同期機の特長、役割、活用法を理解する			
10回	同期電動機	同期機の特長、役割、活用法を理解する			
11回	その他の電動機	その他の電動機の特長、役割、活用法を理解する			
12回	変圧器 1	変圧機の特長、役割を理解する			
13回	変圧器 2	各種変圧機の種類、特長、活用例を理解する			
14回	高圧受電設備機器	各高圧受電機の種類と用途を理解する			
15回	まとめ	総復習とまとめを実施する			